

令和2年8月2日（日）
富山県砺波農林振興センター

農業用水路安全対策ワークショップ（南砺市高屋、理休）

8月2日（日）13時から南砺市高屋公民館において、高屋地区の農業用水路安全対策ワークショップが開催されました。

この地区には、庄川上流用土地改良区の管理する幹線水路、井波町土地改良区の管理する支線水路が流れており、それぞれの水路の危険な箇所を確認し、対策を検討することとしました。

危険箇所のうち代表的なものは、幹線水路ではこれまでに何台も車が転落している県道沿いの水路、支線水路では身長以上の深さの柵や学童バス停付近の水路などが取り上げられました。当地区のワークショップでは2班に分かれて検討され、各班に女性が参加されたことから幅広い目線での指摘もあり、活発な議論が交わされました。

8月2日（日）18時から南砺市理休公民館において、理休地区の農業用水路安全対策ワークショップが開催されました。

この地区は市街地と田園地帯の中間的な土地柄であり、それぞれの観点から対策が検討されました。

その中でも特に熱く議論されたものは法面の長い水路についてであり、蓋や柵などを設置すると転落事故防止につながり安全ではあるものの草刈作業の支障になる、一方、看板やポールコーン設置では歩行者等の安全には役立つものの草刈業者の安全は確保できない、といった問題が取り上げられました。議論の結果は、ワークショップの班によって異なり、蓋をやめる代わりに草刈を安全に行うためのステップを確保しようという班もあれば、安全第一で蓋を設置しようという班もありました。

また、グループディスカッションの始めの時間帯は各班ともハード対策を中心に検討されていましたが、ファシリテーター（※）がソフト活動についても議論して欲しいとのお願いをしたところ、ソフト活動についてもいろいろな提案がありました。

この地区では、もう一度地元関係者のみでワークショップを開催し、対策案を検討していきたいとのことでした。

※ファシリテーターとは、ワークショップの進行役であり、議論を円滑に進めるとともに、多様な意見を引き出すよう中立的な立場から働きかける人のことを言います。

農業用水路安全対策ワークショップ高屋地区 開催状況 [令和2年8月2日(日)]



開会あいさつ



県内の事故状況説明、人形模型実験の動画



危険箇所の現地調査



危険箇所の現地調査



グループディスカッション



グループディスカッション



ワークショップ打合せ資料



グループ代表者による意見発表



グループ代表者による意見発表



ファシリテーターのまとめ

農業用水路安全対策ワークショップ理休地区 開催状況 [令和2年8月2日(日)]



開会あいさつ



県内の事故状況説明、人形模型実験の動画



危険箇所の説明



グループディスカッション



グループディスカッション



安全対策サンプル



意見発表 (1班)



意見発表 (2班)



ファシリテーターのまとめ